

桜も満開の時期を迎え、春は暖かい風と共に、大牟田病院で働く看護師たちにもお別れの季節を運んできました。今回の看護部便りはお別れ特集です。



11病棟 副看護師長 米村久美子

足掛け23年の副師長在籍と7年の賃金職で30年お世話になりました。退職にあたり何を言葉に残そうかと考えなかなか言葉がまとまりませんでした。やはり30年は長いです。しかし30年も副師長を続けた方も少ないかとここで一言、言わないといけないですね。一番に思う事は、「チャンス逃すな」と言うことです。研修でも役職でも声がかかる時はまず「受ける」です。実際に頑張ってから考えれば良いことで、結果はついてきます。そして次は「なりたい自分・将来像を明確に」自分の生活や環境を考え自分らしさを発揮する為の設計を早く立てる事です。現在行っているラダーを活用しましょう。看護職と言うのは、多くの知識を必要とします。医療の発達と共にまた人との関わりのなかで多様な知識と対応する技術・態度が求められてきます。「切磋琢磨して頼れる看護師さんになる」と期待しています。

祝・退職

1病棟 看護師長 大塚貴幸

大牟田病院に配置換えになり、3年が過ぎました。今回4月より西別府病院へ異動となりました。はじめは沖縄病院からの転勤で、環境の変化に戸惑うことも多くありました。しかし、大牟田病院の多くの方々に支えていただき、勤務することができました。この2年を振り返ると、入院患者の多くが高齢者であることの特徴を踏まえたADLを低下させない看護実践と結核DOTSカンファレンスの定着に努めることができました。

大牟田病院での看護師長経験をまとめると、看護管理について看護管理者としての学びをたくさん積ませていただきました。その学びを糧として、異動には不安もありますが、自分にできることを精一杯やってみようと思っています。最後になりますが、皆様の今後の活躍を期待しています。3年間ありがとうございました。

異動



副看護部長 松島篤子

大牟田病院では2年間様々な経験をさせていただきとても充実した時を過ごすことができました。平成26年4月早々には施設基準に係る監査があり、師長さんたちが積極的に対応してくれたことを覚えています。障害者施設等7:1の施設基準を取得するために、平成26年度は多くの看護師を採用しました。体制を整えるために、前年度より教育体制の見直し、業務改善、夜勤体制見直し、業務基準の修正など現場の師長さん、副看護師長さんはじめスタッフの努力と多部門の協力があったからこそ実現した大プロジェクトだったと思います。このような大牟田病院の節目に関わらせていただくことができ幸せな2年間でした。皆さんに感謝申し上げます。人の優しさに触れ本当に大牟田が好きになりました。離れるのは寂しいですけど、これからの発展を佐賀の地で見守りたいと思います。本当にありがとうございました。

教育担当師長 穴井久美子

7年間お世話になりました  
看護師長として昇任し、4部署を経験させて頂きました。今の自分があるのも、これまで多くの方々の支援のおかげです。教育担当師長の経験は、自分に大きな影響を与えました。今までの私は白か黒か、狭い考えになりがちで、はっきりしないことにイライラすることもありました。しかし、教育担当という経験から、その間のグレーがあることに気づき、グレーであることもいいのではないかと心から思うようになりました。「今の状況の見方はあくまでも自分にとってそう見えるのにすぎない」、憶測を控え、他者の考えや意見を尊重する、看護師長にとって、とても大切なものに気づかされました。大牟田で学ばせて頂いたことに感謝し、次の施設でも『自分みがき』をしたいと思っています。お世話になりました。ありがとうございました。

異動

異動

他にも…  
感染管理認定看護師で5病棟の福本渚副看護師長さん、同じく感染管理認定看護師の田代副看護師長さんも大牟田病院を後に新しい勤務地へ移動になりました。

大牟田病院の貴重な戦力を失うのは痛手ですが、皆さんの今後のさらなる活躍を考えれば仕方ありません。

新しい環境に慣れる事は大変だと思いますが、どうぞ身体だけは大事にして下さいね…



5病棟 看護師長 高森モト子

ドキドキ、わくわくして大牟田病院に昇任してきたのが、8年前でした。振り返ると長いようであっ！という間に感じています。

8年間という長い年月、大変お世話になりました。昨年の熊本地震の時は心配していただきありがとうございました。

たくさんの患者さん、ご家族に出会い、いろいろ学ばせていただきました。ご迷惑をおかけすることばかりでしたが、いつも助けていただき感謝しております。

新天地でも、大牟田病院で学んだことを活かして頑張ります。

異動